

令和4年度 学会発表・講演等

【学会発表】

1. 大神正宏. 出産前後にエルロチニブ及びその代謝物の血中濃度測定を行った妊娠症例
第38回日本TDM学会・学術大会 2022.5(茨城)
2. 大神正宏. ペグフィルグラスチムの投与タイミングが発熱性好中球減少症に与える影響(第5報)
第32回日本医療薬学会年会 2022.9(群馬)
3. 田山薫. 外来がん化学療法における薬剤師の取り組み
茨城がんフォーラム2022 2022.10(茨城)
4. 立原茂樹. 茨城県立中央病院化学療法センターにおける抗がん薬汚染の継続的な環境モニタリング
第60回全国自治体病院学会 in 沖縄 2022.11(沖縄)
5. 千葉布季子. 妊娠中のコロナウイルス修飾ウリジンRNAワクチン(SARS-CoV-2)接種が分娩に及ぼす影響
第33回茨城県薬剤師学術大会 2022.11(WEB)
6. 鈴木嘉治. ミコフェノール酸の血液中濃度モニタリングによりステロイド抵抗性免疫関連肝障害のコントロールを試みた肺腺癌の一症例
第20回日本臨床腫瘍学会学術集会 2023.3(福岡)

【講演】

1. 大神正宏. 当院におけるがんゲノム医療への取り組み
第18回県央がん専門・認定薬剤師セミナー 2022.9(WEB)
2. 柴このみ. トレーシングレポートが繋ぐ患者QOL改善への道
県央地区薬薬連携研修会 2022.10(WEB)
3. 大神正宏. 当院におけるPBPMの取り組み ~院外処方せんに係る疑義照会簡素化と外来化学療法処方入力支援~
IBARAKI CINV web lecture 2022.10(WEB)
4. 島田浩和. スチバーガ錠を長く続けるために~当院の手足症候群対策~
大腸がん医療連携Web Seminar in Ibaraki 2022.11(WEB)
5. 大神正宏. 当院におけるirAEに対する薬剤師の取り組み
Immuno-Oncology Seminar in 茨城 2023.2(WEB)
6. 大神正宏. irAEに薬剤師がどのように関わってきたか
第11回県南・県西がん専門認定薬剤師セミナー 2023.2(WEB)
7. 大神正宏. がん診療連携拠点病院を中心とした多施設共同研究実施体制の構築
第52回秋田県薬剤師オンコロジー研究会(APOS) 2023.3(秋田)

【論文】

1. 島田浩和. トラストズマブ単剤投与患者におけるinfusion reaction発現に影響を与えるリスク因子に関する調査
日本病院薬剤師会雑誌 58巻11号; 1298-1302, 2022